

『踊る』一体感！

ドーンドーンドンドン

〰ホーイホーイ

田名部横町の川の水飲めば

ホーイホーイ

八十婆様もノオー若くなる

ホーイホーイ

〰田名部おしまこの音頭とる声は

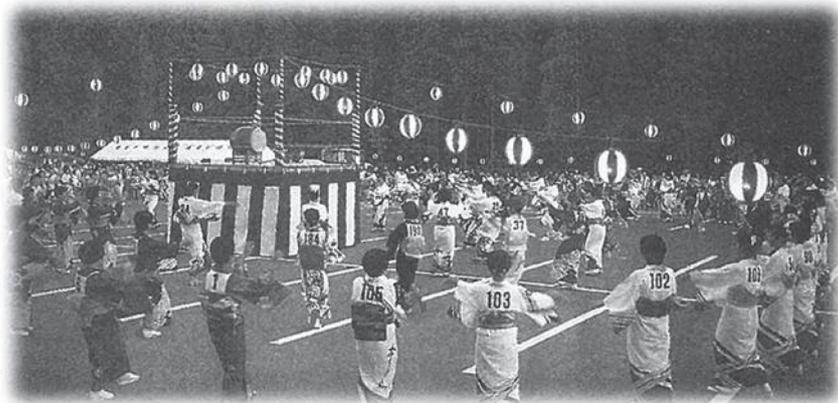
ホーイホーイ

大安寺柳のせみの声

ホーイホーイ ※東通村の『おしまこ』



2023 ドン!と
ボン盆フェスタ
花火大会



広報ひがしどおり 第168号 平成元年9月 より

夏から初秋、地域のお宮やお寺の境内であるいは集会所の広場や路上で、村民は太鼓を囲んで踊ってきました。子供たちは自分の祖父や祖母の鍛えた唄声が誇らしく、ゆかた姿の父母や地域の大人たちの手ぶり足ぶりを精いっぱいまねて踊りました。合いの手が入り、唄い手がつながる生ライブの高揚感の中で盆踊りは佳境に達します。地域の住民の心が一つになる瞬間です。老若男女(ろうにやくなんによ)の輪はますます大きくなり、にぎわいは夜遅くまで続きました。

200 万年前二足歩行になった人間が手に入れたものは、「踊る身体」という説があります。二足で立つことで上半身と下半身が別々に動くようになり、いろいろな表現ができるようになった。この身体を活用して人間は仲間と「歌い」「踊り」、仲間と同調共鳴し、共感力の高いさまざまな集団をつくり出すことができたという考えです。

(山極寿一:霊長類学・人類学者、ゴリラ研究者)

※下線は奥島

新型コロナウイルスによる制限が解除され、各地域でお祭りが復活しています。わが村は郷土芸能・踊りの宝庫！AI時代の今こそ、人間にしかない「踊る」一体感をみんなで！



広報ひがしどおり 第168号 平成元年9月 より